

令和4年度第2回 杉森中学校学校運営協議会 議事録

学校名	杉森中学校
記録者	狩野 俊

開催日時	令和4年5月24日（火）午後5時より
開催場所	杉森中学校 北館2階 会議室
出席者（委員）	岡田会長、佐々木校長、村上会長職務代理、朝枝委員、大谷委員、小川委員、狩野委員、佐久間委員、西野委員、三箇山委員、
出席者（学校）	向笠（学校支援本部員）
傍聴者人数	2名：杉並区教育委員会中曽根社会教育主事、岡部指導主事

会議内容（次第順）
1 会長挨拶 2 校長挨拶 3 議事録・配布物確認 4 審議事項 ① 「中一ギャップ」について／② CS年間活動計画について 5 その他 支援本部活動報告、教育委員会から
主な意見
1 岡田会長挨拶 現在のコロナの状況で、学校生活もようやく平常通りになってきたように思われる。今回は、区教委から中曽根主事、岡部主事のおふたりがお越し頂いている。 2 佐々木校長挨拶 5月10日から11日にかけて1年生の移動教室〈フレンドシップスクール〉を実施した。二日間好天に恵まれ、初日のオリエンテーリング、二日目の飯盒炊爨をはじめ、予定していたすべての活動が無事行うことができた。大自然のなかで友情も深まったように思う。6月の体育祭も子どもたちが力を合わせ築きあげている。一生懸命物事に取り組む姿は恰好いいのだということを生徒らに実感として伝えたい。7月には2年生の職場体験が予定されている。 3 討議事項1 「中一ギャップ」について 中学に入ると一人の大人として扱われる、クラス担任制から教科担任制に変わる等、小学校と中学校の違いに子供たちがつまづかないようにCSでもアイデアを出していけないか。 ・小学校6年時に、「中学校では大人として扱われるよ」といった事前説明が必要ではないか。 ・出身小学校別に派閥が生まれるという話もあるが、杉森中ではそうした状況はみられない。 ・ある委員の経験談：中学進学後、定期考査の結果に立ち上がれないほどびっくりした。中学には中間試験、期末試験といった定期考査があることも、子供達は知らされなければわからない。 ・小学生に、中学生がオンラインでの学校説明会を開催、中学生の視点から身近な情報を小学生に伝えている事例もある。教師、保護者の目線ではなく、子供たちの目線で、先輩が後輩に中学校と小学校の違いを伝える方法は効果があるのではないか。 ・一部の大学にはメンター〔＝指導者、助言者〕制度があり、グループ単位で新入生のケアにあたる。

- ・中学校を知ってもらうための「杉森祭」があるが、来てくれている子供たちは小学校の低学年が多い。高学年の子供たちの来訪に努めるとともに、中学校がどういう場所なのかを伝える努力をしたい。
- ・小中連携が推進される現状において、小学校の先生方にアプローチしていく必要があるのでは。
- ・今年度に限った問題ではないので、来年度以降も適用可能なアイデアを出していきたい。

4 審議事項② C S年間活動計画について

- ・15 年前に発行されたC S便りによれば、当時は活動を6グループに分けて役割分担しており、委員ほぼ全員が学校支援本部を兼任していた。現在では考えられない程活発に活動が行われていた。
- ・本校はC S制度導入時のモデル校で、他校から委員が視察に来るくらいの活動が行われていた。
- ・地域の人たちにもC Sの活動を知ってもらいたい。HPやC S便りなどで議事録を公開してはどうか。
- ・C S委員の認知度を高め、保護者や地域の方々にとって相談しやすい存在にできないだろうか。C S便りに委員の顔写真を掲載し、ピンク色の紐の名札はC S委員のしるしであることを告知するなど、周知を図りたい。委員は、もっと積極的に授業を見学してはどうか。
- ・議事録は、委員持ち回りでつくっていくようにしたい。
- ・C Sは公開を原則に開催されているので、議事録は委員だけでなく誰もが読めるようにしておきたい。

5 その他

● 支援本部活動報告

今週末に英検を実施する。コロナ対策はしっかりと行う。

体育祭後に補充学習教室を予定している。コロナ禍で見送ったため、3年ぶりの開催となる。

職場体験の前に講師を呼び、ビジネスマナー教室を行う。

● 教育委員会から

中曽根社会教育指導主事

- ・議事録は中身の伴ったきちんとしたものを公開していくことが大切で、次期のC S委員に伝わらない。
- ・中一ギャップへの対策は、学校外でもできることがあるのではないかと。保護者とも議論ができるとよいのだが。
- ・CS 委員の名札が配られているようだが、「ピンクのリボンの名札はC S委員」というような特徴づけは、他校にも普及することが望ましい。

岡部指導主事

- ・C Sの存在や制度についての認知は十分とはいえない。
- ・小学校と中学校との間にある段差をなくすべきなのか、あるいはその段差を克服して、乗り越える力を付けさせるほうがよいのか含め、考えていきたい。

次回の会議日程

日 時	令和4年6月20日（月）午後4時より（午後5時30分終了予定）
会 場	杉森中学校 北館2階 会議室